

2013年12月4日

関係各位

野村證券株式会社

野村證券、企業情報化協会よりIT総合賞を受賞

野村證券株式会社(代表執行役社長:永井浩二)は、公益社団法人企業情報化協会(会長:前田忠昭、以下「IT協会」)による平成25年度(第31回)IT賞において、IT総合賞を受賞しました。IT賞は、わが国の産業界、行政機関などの業務における生産性向上と効果的なマネジメントシステムの整備促進を目的として、ITを活用した経営革新に顕著な努力を払い成果を挙げたと認められた企業・機関等に対して、IT協会から授与される賞です。

当社は2013年1月に営業部門の基幹システムを刷新し、株式会社野村総合研究所(代表取締役社長:嶋本正)が提供する共同利用型サービス「STAR(スター)」を導入しました。STARは、当社が提供する対面、電話、インターネットのマルチチャネル取引に対応した証券総合バックオフィスシステムです。税制等の制度改正やビジネス拡大にともなうシステム変更等における費用上昇を抑え、システム面でもお客さまによりご安心いただけるサービスの提供を目的としたSTAR導入の取り組みが、「大規模プロジェクトとしての困難を克服し、大胆な業務改革を同時に行い、戦略目標に沿った成果を上げた」として高く評価され、今回の受賞となりました。

当社は今後も、業務の効率化を進めながら戦略的な分野へのIT投資を継続的に行い、コンサルティング営業のさらなる充実など、お客さまのニーズに沿った質の高い商品やサービスを提供してまいります。

【ご参考】

IT協会ホームページ:<http://www.jiit.or.jp/information/detail/info2959.html>

以上